いわき民報
發行所 いわき民報社 平市田町一番地(電話三八一番)
編輯兼發行印刷人 千輝克己
定價 一ヶ月參円 一部十五錢

電話新增設
今般五三四番が新設されました御知らせ申上げます
常磐產業株式會社
常磐興業株式會社
平市才槌小路電三七二

いわし漁で飢餓突破

準備資金調達に業者側懸命

大量生産のいわし漁で當面の飢餓を突破すべし…と全國第一位のアグリ船を保有する小名濱港の同業者は張り切つて秋漁の準備に着手、勸業銀行側も小名濱業者の熱意に動かされて既報の如く壹千五百萬圓の資金を貸出すことに内定した、然し前記千五百萬圓は漁業會全体の綜合資金であり、アグリ船十九統（一統は四艘を一組とする）完全に出漁するためには更に五百万圓の資金を絶對必要とされ、追加分の五百萬圓は指定銀行たる七十七銀行から融資するのを原則とするが、同行に負擔能力ない場合、指定銀行の追加を勸業銀行平支店に求めて漁期前に五百万圓の貸出しを受けることになつた

北海道地方では早くから主食糧の代替へに魚類を用ひて居り、澤山獲れる鰮を野菜など混ぜてすり味だんごにすると少量でもカロリー満点、主食の代りを爲すから鰮はどうしても大量に獲つて貰はねばならぬ、今年は沿海に早くも鰮の回游を認め、豊漁のきざしありと業者間にも期待が大きい、問題は出漁するまでの準備資金にかゝつてゐる

配給面にこだはつて生産指導怠る

比佐副會長當局を批難

關東北十六縣の鰮アグリ網漁業代表者が去る二十三、四兩日農林省に集合、中央水産試驗場で『食糧としてのいわし增産』に就いて協議、三堀水産局長を交へて鰮漁業の隘路打開策を懇談したが、本縣からは揚繰網漁業組合副會長比佐政種氏が出席、價格問題と資材面で强硬意見が出で、水産局長突込み決議案を上提するなど紛糾を重ねたが、結局十日から再會する議會に向つて猛運動を行ふことに決定、本縣泉濱の本多貴族院議員の紹介で同議員二十余名の賛成を得て『生産數量の尠い高級魚類を値下げして大量に生産の下級魚類を値下げすべし』と陳情諒解を求めることになつた、右について比佐副會長は語る

農林省は獲つた魚類を奪取することのみ考へ、どうすれば多く獲れるかの指導を怠つてゐる漁業の方は業者に任せ放して資材が高からうが、燃料が無からうが一向お構ひ無しだ、從つて漁業者側は資材高、燃料高などから販賣價格と生産費のバランスがとれず船の修繕も、漁師を集めることも出來ずに出漁を放棄したり、早く船を引上げて缺損を尠くすることに最善を求める結果となる、役人の考へはすべて表面的な成績のみにこだわつて原因を探究し生産增强の隘路打開策を怠つてゐる、價格問題、資材問題では東京に新たな全縣的會合を持ち、議會に向つて鬪爭を開始することになつた官僚獨善の一例を擧げると鮮度が生命の魚類に對し、クサツタ魚も生きてゐるものも一率に同一價格で押へてゐるため、都市へはロクな魚が入らぬ、價格の点では小名濱港で一貫十圓のいわしが東京着十三圓と押へられてゐる、小名濱から東京までの運賃、小揚料、荷造包裝などで四圓弱かゝるから業者は東京へ出すと損をすることになる、東京の食糧事情を知つてゐても欠損しながら送れぬことになるのではないか、リンク制の油にしても、それだけ使つたのでは幾日も漁に出られぬ、闇値の油で出漁してゐる裏面の實情も知つてくれなくては業者が可愛そうだ

市の住宅建設見合せ

きのふの委員會で決定さる

平市住宅建設委員會は三十一日午前十時から市長室に開催、先に住宅營團に依る十五坪型を市内十ヶ所一萬四千二百坪を選定し二百戸を建設する豫定だつたが、現在の資材難では土地代を含んで家賃月三百圓を徴收しなければ到底あはないので折角の住宅も家賃の点で市民へ迷惑かける惧があるので當分見合せることに決定、また區劃整理に依る換地は目下縣で交渉中なので市では個人的に相談のあつた場合のみ換地相談に應ずることになつた

勤勞情報發刊

平勤勞署では各町村、礦山、會社、工場等と絶えず密接な關係を保持して行くため機關誌『勤勞情報』を五月號から發行した

二割增收は確實

酵素菌の効果の偉大さ立證

肥料改良中核部落として縣から指定された好間村上好間字內草部落では酵素菌の肥料的效果に着眼、堆肥と人糞にその培養を試みたところ非常な好成績を收め普通の條件下で二割增は確實であることが立證され殊に同村の麥作は普通一反歩四石の收穫が現在の作況から見て六石の自信がついた

この酵素菌とは蛋白質に類似した一種の化合物で榮養上に占める關係が大きく馬鈴薯にこれを試用すると密集した大きい薯が穫れるので肥料界に劃期的な影響を齎すものとして期待され、石城郡農業會でも各町村へこれが普及に力瘤を入れてゐる

電熱苗代見事成功

明春は寒冷地全域へ普及

增産へ協力のため今年初めて甘諸の電熱溫床を實施、異常な好成績をおさめた東北配電平事務所では、今度はこれ又郡下では最初の電熱溫床苗代を澤渡村に六坪、永戸村三坪、田人村に九坪、川部村に六坪の計二十四坪實施したが、これ又頗る良好な成績で、永戸村の會田正一氏の本田移植を筆頭にこの全部の本田移植が終り、例年より十日以上も早い田植えが行はれた、山間部の寒冷地帶は一日も早い田植えが增産の鍵といはれてゐるだけにこの効果は今年の收獲に大きくものをいふものとみられてゐるが、坪當り電力は僅か三百ワット程度であがり頗る簡便でもあるので、明春は今年の成績に鑑み寒冷地帶全域に普及せしめることに決定した

木炭搬出目標突破

商組で感謝會を

平地區配給統制組合燃料部では野矢安孝氏が新部長に就任以來市郡民に薪炭の心配をかけてはと縣下のトップを切つて配達制度を復活すると共に平署の協力を得て、磐城貨物自動車の提供による十臺のトラックを利用、永戸、箕輪、三阪、澤渡、川前の各山元に眠る木炭の搬出を十日間に亘り實施したがその結果は三萬俵の目標を突破する異常な好成績を擧げたので、平商組ではこの努力に感謝すると共に協力者の勞を犒ふため近く慰勞感謝會を催すことになつた

金成氏理事へ

東北配電の爭議は解決、重役陣の改選をみたが、この結果元植田電力社長金成通氏は今回理事に就任した

米の不正受配

不埒な男檢擧さる

好間村大字下好間字手倉七瓦製造業兼農業小野無比雄(四九)は昨年十二月二十七日より丸農といつはり申告、五月二十八日迄二九七、四八〇瓦の不正配給を受けて居たが取調べと同時に自宅に白米二俵隱匿して居たことも發覺三十日檢擧

花賭博で

内郷町字白水無職立野久一郎(四三)同榮月滕三郎(三四)同綴中村進(二八)同鈴木運太郎(三八)同加藤清一(二二)の五名は二十九日夜同町綴雜貨商高橋吉郎方で花札賭博開帳中發見され平署へ檢擧された

いわき寸言

▽戰爭中は一寸聲を大きくして物を云ふと『ヤレ戰爭に非協力的だ、スパイ行爲だ』と攻撃され『一寸コイ』と來たものだ▽戰爭が終つてホットしたと思つたトタンに『摘發隊に協力しないとか、メーデーに參加しない』といふことに依つて非民主的だとか反動的だとか非難される▽これでは何時になつても民衆は浮ばれぬのではないか日本の民主々義は聯合國に依つて與へられたものではあるが、他人に押しつけるべきものでない▽指導と强制は根本的に相違するのだ、自由は眞に個人の意志を尊重することに依つて生れる、强制はいわゆる獨裁である▽民主運動も押し賣りだけは御免被りたいものだ

カジメの採取始まる

干潮に大賑ひの磐城七濱

磯のかほりも高く石城各濱はいま潮干狩で賑つてゐる――各海藻類も一日から採收が解禁になつて小舟を繰るカジメ舟も、久しぶりで出漁、その第一回の收獲として豊間町から四百二十五貫が平市へ入荷した、今後は毎日四、五百貫宛入荷の豫定だが同町では今夏まで六千貫、江名八千貫、小名濱三千貫、四倉一千貫の目標に向つて採取が始つた、殊に明二日の日曜は炭礦、各街から操出す採取部隊で、いま丁度潮の引どきだけに大賑ひの豫想である、今月の小名濱測候所發表干潮時刻は次の通り

二日	一二時二〇分	〇、一〇
三日	一三、〇〇	
四日	〇、四五	一三、四五
五日	一、二五	一四、三〇
六日	二、三五	一五、一五
七日	四、〇五	一六、一五
八日	六、〇五	一七、三〇
九日	七、二〇	一八、四〇
十日	八、一五	一九、五五
十一日	九、〇〇	二〇、四〇
十二日	九、三五	二一、一五
十三日	一〇、〇〇	二一、五五
十四日	一〇、四〇	二二、四〇
十五日	一一、〇五	二三、一〇
十六日	一一、二五	二三、四五
十七日	一二、一五	二三、五五
十八日	一二、四五	
十九日	〇、四〇	一三、二〇
二十日	〇、四〇	一三、五五
廿一日	二、一五	一四、三五
廿二日	三、一五	一五、三〇
廿三日	四、三五	一六、二五
廿四日	六、一〇	一七、三五
廿五日	七、二〇	一九、三五
廿六日	八、二〇	二〇、二〇
廿七日	九、一〇	二一、二〇
廿八日	一〇、〇〇	二二、〇〇
廿九日	一〇、三〇	二二、三五
三十日	一一、三〇	二三、二〇

内郷町河川愛護會誕生

全町民を會員に

内郷町では町の發展を期するには先づ道路と河川の改修からと根本町長を會長に、各町議、部落會長等を評議員に、全町民を一戸殘らず會員として今度道路河川愛護會を結成することになり、一日結成式をあげた、會員は年二圓宛の會費を納入し、これにより運營維持し、場合に依つては道路の修理、橋梁の架替へ、河川の改修等も町民自身の手で實施することにもなつてゐるので頗る期待を寄せられてゐる

小名濱町
富ケ浦病院
院長 安田善一
電話三三番

内科 小兒科 眼科 産婦人科 耳鼻咽喉科 外科 皮膚科 泌尿器科 臨床試驗室 藥劑士

安田善一 佐藤忍 師田むめ子 筒井榮 下田林之助 師田むめ子 下田林之助 佐藤忍 足立理義 依田孫美子

愛の教育が最も大切
引揚げ學徒の學力は低い

一般の外地引揚民と混つて哀れな子供たちの姿も多く見られるが、その殆んどが遠く支那大陸臺灣、朝鮮等から歸つて來たものが大部分で現地で終戰後授業を中止してゐたため內地の一般生徒より學力が低下してゐることは確であり、また思想的にもあらゆる困難を克服して引揚げて來ただけに內地の食糧事情で思ふ存分喰べられないからこの苦しみを通して『一体私達の生活はいつになつたら樂になるのだらう…』と惡化へ進み勝ちである、現在市內中等學校へ引揚生徒のうち轉校したものは次の如くで學校側は勿論教師一人々々が彼等へ愛の教育をほどこさないと可哀想である今後も南方から或は滿洲から續々引揚げて來る子供だちのためにも――

（磐中）五年三名、四年七名三年六名、二年十二名、一年十六名（平工）三年四名、二年三名、一年二名（磐農）一名（平商）一名（磐女）四年十名、三年五名、二年九名、一年二名（平女）四年一名、三年三名、二年六名、一年一名（平女商）一名

一學年づゝ低學年へ
大橋磐中教頭談

右について磐城中學校大橋教頭は語る

學力の低下は確です、本校では轉校前にテストを行つて學力を認定してから入學させてをりますが大低は一學年づゝ低學年へ編入してをります、生徒自身にしても過重な教育を强要されるより良いと思ひます、一般に內地と較べ外地は教育程度が遲れがちとされてをりますが、殊に臺灣の生徒は學業を放棄し警備隊に入隊させられてゐたと云ふ有樣でした、食生活や思想的にも今の處大して他の生徒と違つたところもないやうです

珍しい家主さん
山崎義德さんの篤行

市內鷹匠町七番地山崎義德（四三）さんは七丁目河田鐵工所で勤續十四年頗る腕のよい製罐工だが家へ歸れば家作數軒を持つ大家さんでもある、ところが此の大家さん他の家主の樣に家賃の値上を要求するどころか、十年以前の極めて安い、三疊四疊半六疊の三間で月五圓と云ふ恐らく現在としては無代に等しい家賃で貸してゐたが、終戰と同時にそれすら何とか世の中が住み好くなるまでは不用だとばかりに店子の持參する家賃を受取らず突返してゐたが、偶々店子の一人全番地居住の根本勝二（五七）さんが疊の表替を始めたのを見付て疊建具の修善は大家の任務だとばかりに早速家作全部の疊替を決行、面食つたのは店子さん達家賃が安いし時代も違ふからせめて疊替の費用は私達に拂はせて戴き度いと申し出たが頑として應せず押して云はふものなら俺のやり方が氣に入らないなら出て行つて呉れとの挨拶に店子一同も斷念？、何とか別な方法で大家さんに報いやうと目下協議中とある。尙山崎さんは全じ店子の石井まさ（三六）さんの夫君が機關士として乘務中去る七月水戶附近で空襲の犧牲になつたのを氣の毒に思ひ種々と面到見る外街の青年三名を自宅に置いて更生させ正業に就かせる等風變りな大家さんぶりと其の義俠心は街の話題になつてゐる

六月の映畫だより
洋畫の一本も無い寂しさ

平市內聚樂館、平館の兩常設映畫六月の番組は次の如く今月の映畫には洋畫が一本もないのが淋しい然し先月から平館で上映中の直輸入社映畫『拳銃の町』には大部好評を得てゐる、この外終戰後の新しい寫眞は聚樂館の『幸運の仲間』（エノケン）『民衆の敵』（藤田進）『或る夜の接吻』（奈良光枝）平館の『女性の勝利』（田中絹代）の四本で『或る夜の接吻』は例に依つて近頃流行になつて來た際物、迷惑な映畫だと攻擊しつゝも大入だつた『女生徒と教師』は同樣若い人達の見たがる寫眞だらう、『女性の勝利』は主役の桑野道子が仆れた最後の映畫だけにファンには見逃せないらしい【聚樂館】▽六日から東寶映畫、佐伯清演出榎本健一、清水金一主演『幸運の仲間』▽十三日から東寶映畫、今井正演出藤田進、花柳小菊主演『民衆の敵』▽二十日から『牢獄の花嫁』▽二十七日から大映畫、千葉泰樹演出、奈良光枝、北龍二主演『或る夜の接吻』【平館】▽六日から松竹作品、溝口健二演出桑野通子、田中絹代主演『女性の勝利』▽十三日から松竹映畫佐分利信、川崎弘子主演『人妻椿』▽二十日から松竹作品（新版）『家族會議』▽二十七日から高峰三技子主演『純情二重奏』

生活と文化
紫竹莊から
—旭莊隨筆にみる—

千輝克己

（一）

大阪の幕末の儒者廣瀨旭莊の『九桂草堂隨筆』に、三都及び三都人の特色を次の樣に形容してゐる

京の人は矜風多く、大阪の人は殺氣多く、江戶の人は客風多し、京の人は土地を尊ぶ、其意に曰く江戶大阪と雖も皆田舍なり、住むは都に如くはなしと。大阪の人は富を尊ぶ、其意に曰く公卿官祿高しと雖も貧きが故に我輩商買に手を下ぐるなり、世の中に富ほど尊きものはなしと。江戶の人は官爵を尊ぶ、其意に曰く諸侯さへ貧しき時節なり、貧は愧るに足らず、質を置いても立身するがよしと。是三都人氣の異る所以なり。

旦那的、隱居然として高踏的に構へる京の人に似た指導者、富を積むことばかり知つて散ずることを知らぬ大阪人らしい指導者、物を質に置くどころか、利權漁りまでやつて公職にありつきだかる江戶人らしい指導者が何と多いことではないか。かういふ人達のやうに無爲にして利已的な生き方をすることも、利息の計算ばかりしてゐることもまた利權を漁りイツトの捕虜となり早晩沒落することも、結局その人の自由な振舞だといへば、彼是と非難しても仕方はあるまいが折角現社會に生きてゆく以上はもつと社會的に意義ある生義ある生活態度がとりたいものである。

シユモラアは『凡ての職業は社會に對して何等かの貢獻をする、そして此の貢獻は社會全体の欲望によつて種々に評價されるが、其結果として、その貢獻に對して最も高い値を見積られた職業が一番貴い』といつてゐるが、私達は自己の仕事を出來るだけ多くの社會に貢獻し得るやうに仕向けたいものではある。

天明の頃の二鐘亭半山の『見た京見物』といふ隨筆に、

京は砂糖漬のやうなる所なり、一体稚有つて味に比せば甘し、然れども、かみしめてむまみなし、からびたるやうにて潤澤なることなし、綺麗なれど、どこやらさびし

と當時の京都を批評してゐるが現在我々の周圍にある指導者の生活の外形と內容とを吟味してみると、丁度當時の京都のやうだ。

詩

歸國
慈光路子

春の陽がさん／＼とふり注ぐ
故鄕のステーション
何度か夢にみたステーション――
私は今その故鄕のステーションに立つてゐる
まるで放心した樣に
夢ではない いゝえ夢ではない
數々の出來事が今更らのやうによみがへて來る
では故國の靜かな平和そのまゝのやうなこの姿から
私は恐しかつた數十月の苦しさを忘却しさうになる
夢ではない いゝえ夢ではない
私は故鄕に歸つて來た
こゝは故鄕のステーションだ
私はそつと自分自身の疲れはてた心に呼びかけるのだつた

天氣圖
浦駿太郎

僕はもうさつぱり筆が進まない
やけに磨いだ鉛筆の尖で小指の指紋のくりつと卷き込んだあたりを突いてゐる
何時か測候所で見た天氣圖の赤いピンのささつた七百二十粍の颱風眼を思ひ出しながら
C子、君は先刻から何してるんだい 默つて
茶碗の糸尻のなりについた小さな水のリングを卓○臺の上にその繊い指尖で引きのばしながら
僕達の間に襲つて來たあのパツシヨネツトタイフーンを君はまだ考へてるのか
いゝぢないか忘れちまへよ そんなことは今君が卓○臺の上に書いてゐる水で引かれた天氣圖の樣に青い五月の風が吹けばすぐ消えちやうんだから
明日にも――

いわき俳壇

多賀吟行
久野光昭

吹く風に若葉大木のゆりにけり
千切れ布代苗小田に吹かれおり
夏草や誰れやらつけし徑の跡
山鳩のホロ／＼と啼く若葉かな
鳥さゐも止らぬ名あり花茨
小波の立つ瀨に河鹿鳴きにけり

雜吟
大內光司

雲も見る神仙洞や蚊喰鳥
行山に山吹咲いて居たりけり
糸引いた毛虫さがるや木下陰
滿々と水を引いたり苗代田
雨晴れに匂ふ木の芽や右ひだり

開放
投稿を歡迎す 要望批判結構 紙上匿名可

市役所と自轉車

▼…平市役所には以前六臺の自轉車があつたのが二臺は小使さんが用達しに出てゐる途中で盜まれ、殘る四臺は年數ものだけに毀れて使用に堪えないので現在は一臺もない有樣

▼…從つて小使さんはすべて徒步で用達、それもやれ何の配給だ、納稅切符だと每月殆んど全市に亘つての用達、急ぎでないものならまだしものことだが大部分が配給關係に急ぐものばかりだから大變だ

▼…平遂あたりまで歩くとなると相當の時間がかゝる、從つて時には配給切符や通知が屆けられた時はもう配給日になつてゐて區內會長が隣組等へ通知する時間がない場合も珍しくないとある

▼…平市ともあるものがこんな始末でとの小言もあるか判らないが、さて自轉車を買ふとなると先づ豫算から考へねばならず個人のやうにおいそれと解決し得ぬところに大きな悩みがあるそれに現在自轉車は金を出しても容易に手に入らない現況にある

▼…市役所は役人のものでないのである、市民のためのものなのである、この際何とか篤志家から自轉車の寄附は願へまいかとは一小使さんの言葉だが眞に御尤なこと、是非市民諸君の良心に訴へたいものである（ちぎら生）

共同便所を

▼…平市を歩いて最も不便に感ずることは共同便所の設備のないことだ、衞生上からみても面白くない、是非二ヶ所位設けて貰ひたいものである市當局の御一考を願ひたい（一旅人）

美術貴金屬、書畫骨董
衣類雜貨、新古家財道具
何んでも高價に買入れます
平市南町平館隣
中央會館

セメント瓦製造
御注文に應す
尙古いカタマリセメント御持の方交換も致します（在庫豊富）
大浦村上仁井田
合名會社 東京工業社
仁井田工場
工場主 大谷文夫
御注文ノ際ハ御一報下サイ係員參上致シマス

趣味と藝術
近代的技法の寫眞
今日から開店致しました
お引立の程願ひます
平市二丁目十一
延松寫眞スタヂオ

類燒御見舞御禮
撮影を初めました
平市田町七四
舊藤田校舍
林寫眞館

▼營業種目▲
▽…礦山機械
▽…製材機
▽…電氣酸素溶接
▽…自動車三輪車發生爐
▽…船舶機器
製作設計修理
湯本町驛前
タモツ工作所
電一二六番